



ほのぼのせや

承認●瀬谷区第10号

<http://seyaku-shakyo.jp/>

これからもつながり続けるために

～新たな生活様式の中で取り組むボランティア活動～

瀬谷区では、様々なボランティア活動が生まれ、人と人とのつながりを大切にしながら長い年月をかけてはぐくまれてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の広がりによって、住民同士が互いに距離を取り、接触する機会を減らすことが求められ、これまで実施されていたボランティア活動は休止や延期等の自粛を余儀なくされています。

こうした状況は、一方で、誰かとつながっていること、誰かを支えたり支えられたりしていることの大切さを教えてくれました。ボランティア活動にしかできない、身近な地域での支え合いやつながりづくりを途絶えさせないために、みんなで考え、取組を進めましょう。



先ず、ボランティア同士で話し合みましょう

ボランティア同士が感染予防を徹底し、少人数で集まったり、オンライン会議等を活用して話し合いをしましょう。中には、新型コロナウイルス感染症により活動の再開に戸惑ったり、長い自粛生活中に活動意欲を失いかけていたりしている人もいます。ボランティア活動は、元来自動的なもので、無理強いしてはいけません。ボランティア一人ひとりが無理をせず、活動の目的や大切にしてきたことを確認し、今、何ができるかを考えましょう。

福祉活動の再開方法等を検討しましょう

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮して福祉活動やボランティア活動を実施する場合、「3つの密」(密集・密接・密閉)を避ける、マスクを着用、手洗い・手指消毒、検温等の感染防止対策を徹底し、感染のリスクをできる限り減らして実施します。電話や手紙、メールを使う等、活動方法を見直しながら実施することも必要です。それでも感染のリスクを減らすことができない場合には、これまでとは違う新しい方法を考える必要があります。

●地域での取組例

- ◎子ども食堂はできないけれど…
地域の子どもたちに公園でパンとお菓子を配りました。
- ◎高齢者食事はできないけれど…
スーパーでお弁当を購入して高齢者のお宅に配達しました。
- ◎「社会を明るくする運動」集会はできないけれど…
広報紙を配布して、地区独自の標語を募集しました。

正しい知識を身につけましょう

新型コロナウイルス感染症の地域での流行状況や感染防止の方法等、正しい知識を身につけて感染拡大防止に取り組むことが大切です。新型コロナウイルス感染症に関する情報を集めるセミナーや勉強会に参加するなど、それぞれの団体の活動内容に合った正しい対策を考えましょう。

●万が一に備えてボランティア活動保険に加入しましょう

全国社会福祉協議会のボランティア活動保険では、ボランティア活動中に新型コロナウイルスに罹患して治療を受けた場合、補償の対象になることになりました(令和2年2月1日に遡り適用します)。補償内容は次のとおりです。

- ①入院保険金(6,500円/日)
- ②通院保険金(4,000円/日)
- ③後遺障害保険金
- ④葬祭費用(死亡の場合、300万円を限度にとした実額)

令和2年度 瀬谷区ふれあい助成金 134団体に総額9,908,000円を助成しました。

この助成金は、みなさまからの賛助会費・共同募金・地域福祉推進基金などを活用して、地域福祉の活動を応援しているものです。(単位:円)

I. 要援者支援区分		II. 障害児者支援区分		III. 福祉のまちづくり区分	
街のついで広場 ほっとカフェ	300,000	瀬谷第一あじさい会	50,000	瀬谷区手話サークル「さかいの会」	50,000
グリーンカフェ	240,000	ふれあいサロン左馬	80,000	瀬谷区手話サークル 杉の会	50,000
はつらつクラブ	180,000	カフェスマイル	80,000	本郷あじさい会	50,000
音楽のたまご	120,000	ほっこりカフェ	80,000	むつみ会	50,000
健康長寿サロンシンコロ会	120,000	楽老ハイツ自治会 楽老サロン	80,000	相沢ふれあい食事会	30,000
コスモサロン	120,000	ゆるり瀬谷 ゆるり会	80,000	いちごクラブ	80,000
サロンよってA	120,000	サロンひだまり	80,000	ゆうスリー	80,000
にこにこ会	120,000	本郷サロン	70,000	子育てサロンえむ	50,000
マークサポート支えあい	120,000	サロンよってB	70,000	TEAMドルフィン	50,000
ハンドメイドカフェ	100,000	相沢ふれあいサロンI	70,000	ひよごサロン	40,000
第一サロン	100,000	喫茶パンパー	70,000	あくわキッズみなみ	40,000
ユートピアすこやかサロン	95,000	サロン「なかよし」	70,000	瀬谷第四地区女性のボランティア	180,000
喫茶だんらん	80,000	北新サロン	50,000	グループ・男の手質します	160,000
相沢ふれあいサロンII	80,000	サロン旭台	50,000	相沢助け合いの会	40,000
阿久和生利ハビリはまなすの会	80,000	認知症カフェ カフェド・せや	50,000	配食サービス「たんぼほの会」	240,000
あやめ会	80,000	みやざわ倶楽部	50,000	配食木曜の会	300,000
歌声ラウンジ宮沢	80,000	ふれあいサロン下瀬谷	45,000	はあとの会	240,000
おどなり会	80,000	サロンスマイル	40,000	配食サービス火曜の会	240,000
お仲間サロンひなたぼっこ	80,000	ハッピーダンス	40,000	配食サービスかしの会	240,000
カフェすずらん	80,000	ほっと三ツ境	40,000	宮沢配食部会	120,000
元氣倶楽部	80,000	健康体操やまゆり会	40,000	特定非営利活動法人 せや	350,000
サロン「北の福」	80,000	スマイルハーモニー	37,000	II. 障害児者支援区分	
サロンスプリングガーデン南瀬谷	80,000	瀬谷どんぐりの会	32,000	コアラの会	60,000
サロンふらっと宮沢	80,000	ふれあい健康サロン	30,000	Star Dust Club	60,000
サロン細谷戸運営委員会	80,000	うたごえひろば	20,000	ジャンプ	58,000
サロン楽々	80,000	サポートクラブ ニュータウン	16,000	原つばねの会	46,000
南部にこにこサロン	80,000	だれでもサロン福	16,000	ふらっとb	40,000
ひなた山サロン井戸端	80,000	下瀬谷こども食堂実施委員会	180,000	精神障害者家族会 あじさいの会	100,000
ふれ愛♥音楽塾	80,000	ラッキー	80,000	瀬谷区視覚障害者福祉協会	60,000
ほっとサロンゆうあい	80,000	このは会	80,000	瀬谷区聴覚障害者協会	40,000
ほのぼのサロン	80,000	宮沢ひまわり給食会	80,000	瀬谷区障害者団体連絡協議会	40,000
モボ・モガ 喫茶	80,000	阿久和南部高齢者食事会	50,000	瀬谷区肢体障害者福祉協会	39,000
ゆうぎりサロン	80,000	阿久和北部 子ども食堂 大カレーパーティー	50,000	三ツ境MAX	60,000
ゆうゆうサロン富士見台	80,000	阿久和北部お楽しみ食事会	50,000	TUKIICHI	60,000
		すみれ会	50,000	ほっぺ	60,000

瀬谷区ふれあい助成金 活動団体を訪問しました * * * * *

ふれ愛♥音楽塾 ～音楽とのふれあいで心のリハビリを♪～



平成29年に、『音楽で喉トレ♪』を目的に立ち上げた団体です。6月まで新型コロナウイルス感染防止のため活動を休止していました。「こんな時こそ、音楽を聴いたり演奏したりする際の癒し効果が心のリハビリには一番!」と、志村講師が声を上げ、7月より活動を再開しました。

ふれ愛♥独自「マスク着用で楽しむ新スタイル音楽エクサ♪」

- ① 静かなピアノ曲で心を落ち着かせる
- ② リズミカルな曲に合わせて身体をほぐし、エクササイズ
- ③ ミュージックベルを皆で奏で澄んだ音色を楽しむ
- ④ ラデツキー行進曲に合わせて、大小のハンドクラップで音楽表現。

声は出さなくても歌わなくとも、全身、大声で歌っているかのような満足感、達成感を得られます。

私たちのコロナ対策

- ★マスク着用(スタッフは+フェイスシールド) ★分散入場、分散退場
- ★非接触型体温計で検温、健康チェックシート記入 ★手指消毒剤
- ★定員14名事前申込制(キャンセル待ちあり) ★サーキュレーター設置、常時換気
- ★大声、歌は控え、活動は1時間以内に凝縮した「ふれ愛オリジナルプログラム」

<活動場所>
せやまる・ふれあい館

<活動日>
毎月第2火曜 11:00～12:00

<参加費>300円
(見学希望は社会福祉協議会まで)

安心して参加いただくために

せやまる・ふれあい館

横浜市多機能型拠点こまち
二ツ橋小学校
シャローム三育保育園
公園
瀬谷
中丸バス停
相鉄線

●アクセス
相鉄本線「三ツ境駅」下車 徒歩約12分
または、三ツ境駅北口より相鉄バスにて「中丸」バス下車 徒歩約5分

●駐車場
26台 ※障害者用駐車場2台
※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

開所時間
■横浜市瀬谷区社会福祉協議会 月～金曜日/8:45～17:15
■瀬谷区ボランティアセンター 月～土曜日/9:00～17:00
■瀬谷区福祉保健活動拠点「パートナーせや」 月～土曜日/9:00～21:00 日曜日・祝日/9:00～17:00(年末年始を除く)

編集後記
風雨災害やコロナウイルスで見通しのきかない不安と自粛疲れに、早くお話ししたり活動したりしたいと、多くの方が悲鳴を上げている気がします。道端で出会った人が1週間誰とも話してなかったと、つかの間のおしゃべりを喜んでいました。やはり人は声を掛け合い、励まし合って生きていくものだと思います。縮小でもいい、ひと工夫しているような活動を始めていきたいです。地域の皆さん、よろしく!(紅林委員)

広報委員会
委員長 ●水村 明(瀬谷第一地区社協)
副委員長 ●紅林 千津子(相沢地区民児協)
遠山 丈晴(瀬谷第四地区社協) / 飯塚 陵子(ワーカーズわくわく) 堤 順子(瀬谷区発達障害理解啓発グループ ant mama)

子どもは地域の宝物

ほのぼのせや
広報委員レポート



苦心と模索のその向こうにきっと光がある ～子どもの居場所を考える円卓会議に参加して～

令和2年7月9日(木)、「瀬谷区子どもの居場所を考える円卓会議」に参加しました。この円卓会議は運に恵まれず、本来は昨年度開くはずの会議でした。ところが台風やら講師の都合がつかないやらで、延び延びになっていた会議です。今年度やっと開催できると思っていた矢先、新型コロナウイルスの感染拡大防止でまたもや延期の対応を迫られました。そして、7月9日にやっとのこと第1回円卓会議の開催の運びとなりました。

ほんとに不連続きの円卓会議で前途多難と思える船出ですが、目の前に広がる海原はどんな表情を見せてくれるのでしょうか。それを皆さんにご案内いたします。



円卓会議とは?

新型コロナが流行するとは夢にも考えていない時点のネーミングですが、参加者がひざを突き合わせて話し合いましょうと企画されました。同時に円卓には「子どもの居場所を考える」という点で、みんな対等だよ、という意図も込められていると思います。

今回の新型コロナの感染対策で、持ち方は円卓ではありませんでしたが、気持ちは円卓会議です。



どんな団体や人が参加しているの?

瀬谷区の中で具体的に子どもの居場所を形成している団体(各地の子ども食堂や学習支援クラブ、いろいろな形の子ども居場所を作っている団体)と地区社協や地域ケアプラザの人たちです。

話し合っていて見えてきたこと、子どもたちの状態は

新型コロナの感染拡大は私たちの日常生活を一変させました。マスク着用、三密回避、休校、テレワーク、外出自粛...それらの行動変容が、否応なくそれまでの穏やかな生活を一変させました。そしてそのしわ寄せは子どもたちにどのように押し寄せていたのでしょうか?

●「テレワーク中の父親を気にして家で遊べない子どもたち」

...間を取り持つ母親に負担が集中していた。外に出た子どもたちに行く場所は多くはない。

●「休校中公園で遊ぶ子どもたち」

...休校中のその期間、土木事務所には近隣住民からの苦情が殺到したそうです。

●「おじちゃん開けてよ、行くところがないんだよ」

...それまで運営していた子どもの居場所がやむなく閉館となり、懇願する子どもたちに「ごめんね、今は開けられないんだ」と対応するしかなかったことが、今回の参加者から悔しさを滲ませながら語られました。

円卓会議は、3か月に1回程度の割で意見交換をしていくことで、今後も続いていきます。(水村委員)

緊急事態宣言の解除後に

緊急事態宣言が解除され、6月に入り学校も再開され、徐々に元の生活を取り戻しつつあります。しかし、「新しい生活様式」を採り入れることが求められています。

そこで、新しい模索が始まっています。大カレーパーティーはご飯ではなくカレーパンに変わりました。食事の提供を、三密を避けるために少人数で調理したり、一人で行っているところもありました。また、広場などでは利用人数を制限したり、予約制にしたりと徐々に活気を取り戻しつつあります。

今できる子どもたちの居場所づくり

きつとどこでも新型コロナが流行する以前と同じことは出来ないでしょう。まだ、苦心と模索の途中にあります。いまだこれだと言う結論は出てません。しかし、子どもたちは元気です。大人たちが三密の怖さやマスク着用の意味を語るしかありません。子どもたちは大人たちより早く適応します。適応した中で、大人たちが気づかない居場所の在り方や過ごし方のヒントを示してくれ、今は、それに気付ける大人たち、親たちであることが重要ではないでしょうか。

講座告知

～ボランティア入門～ 人生をもっと楽しく スマイル講座

これからの人生をもっと楽しく元気に過ごすための何かが見付かるかもしれません。毎回おいしいコーヒー付きです。何か始めたい方、是非ご参加ください!

仲間作り

コーヒーの淹れ方実習

自分発見

4回連続講座 ※全4回参加できる方が優先

- 11月6日(金) 10～12時 「コーヒーの淹れ方」を学ぶ
- 11月13日(金) 10～12時 「おもてなしの心」を学ぶ
- 11月20日(金) 10～12時 「コーヒーの淹れ方」を学ぶ
- 11月27日(金) 10～12時 「良い人生を送るための自分発見の仕方」を学ぶ

場所 せやまる・ふれあい館2階 多目的研修室 ほか 定員 15名(応募者多数の場合は抽選) 参加費 無料

申込 10月9日(金)～10月23日(金) 電話にて 社会福祉協議会 045-361-2117 まで

※新型コロナウイルスの感染状況により縮小・中止になる場合があります。



講座告知

令和2年度 せやまるタウンカレッジ

地域活動のはじめのいっぽを学ぶための講座を3つのテーマでオンライン開催します。1テーマだけの受講も複数テーマの受講もどちらも大歓迎です!是非お気軽にご参加ください!



●3つのテーマで講座を開催 ●好きなテーマを選んで1回から受講できます ●希望者多数の場合は抽選

講座1

Zoomで学ぶ退職後の「はじめのいっぽ」

【実施方法】Zoomで実施(通信料は自己負担) Zoomでの参加が難しい方は、瀬谷区役所5階会議室
【実施時期】11月8日(日) 10:00～11:45 【定員】Zoom 20名、来場 10名(応募多数の場合、抽選)
【講師】NPO法人ロクマル 理事長 有澤 厚子 氏

申込方法 10月20日(火)までに(必着) 必要事項(講座名、氏名、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス、年代、参加人数、受講方法(オンラインor来場)をご記入のうえ、下記問い合わせ先へ郵送、Eメールまたは直接(窓口)まで

申込問合先 瀬谷区役所地域振興課 地域力推進担当 住所:〒246-0021 横浜市瀬谷区二ツ橋町190
TEL:045-367-5789 FAX:045-367-4423 メール: se-chiikiryou@city.yokohama.jp

※新型コロナウイルスの感染状況により、内容の変更・中止となる場合があります。

講座2

コロナ時代の人とのつながりについて考える

講座3

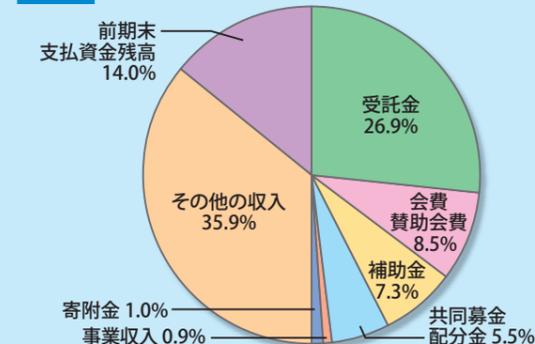
人とのつながり、オンラインでつくるには

講座2・3の日時や申込方法については「広報よこはま1月号」に掲載予定です。

令和元年度 瀬谷区社協 決算報告

瀬谷区社協では皆様からのご協力を受けて、様々な事業を展開しています。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

収入 収入計 118,198,953円



支出 支出計 118,198,953円

